

◎観瀾校のコミュニティ

地域の活力を生かし、地域の人々を学校に取り込むこと。つまり、地域の人々による学校支援のこと。

つなぐ 65号

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
H28. 2. 22(月)
文責：白井

◆本通信は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者の皆様にお知らせするものです。さまざまな取り組みによって子どもたちが「豊かな心と確かな学力」を育てていく様子をお伝えしています。

◆今年度最終号です。平成28年度も地域とつながる取組をいっそう充実させていきます。

地域ボランティアの方々の支援による活動 1～2月編

1年生が大勢のボランティアさんと一緒に昔あそびを楽しみました。1年生のかわいい笑顔に、ボランティアの皆さんも自然と優しい笑顔がいっぱいに！



3年生は、学年園で育てた野菜で豚汁を作り、1年間お世話になった芦穂会のみなさんと一緒に味わいました。

5年生は、廃油石鹸と和紙作りでリサイクルを体験しました。JAと市農村青年クラブ(4Hクラブ)の協力で、みそ作りにも挑戦しました。体験を通して学んだことは、子ども達の記憶に刻まれます。新たな発見や感動が、豊かな学びにつながっています。



みそ作り

8年生は、立志式に向けて自分の決意を小筆で短冊に書きました。清書ときは、教室の空気がぴんと張り詰め、「緊張で手が震える」との声も。ボランティアの先生の助言や励ましは自信になりました。



書写支援

地域のみなさんとの交流活動の紹介

2/14(日)花いっぱい運動

小学部、中学部の子ども達が参加し、芦刈町青少年育成会の各団体の皆様と一緒に花苗を植えました。この花が、本校の卒業式や入学式に色を添えてくれることでしょう。ありがとうございました。



石鹸作り



和紙作り

地域とつながり、地域のことを共に考える 小学部6年間の集大成 「芦刈町づくり 発表会」(6年生)

この学習の中で、町づくりに関わる方々や地域ボランティアの方々から直に話を聞くことができました。芦刈町の現状や地域の方々の思いに触れることで、自分たちが多くの方々に支えられて生活していることへの気付きにつながったことと思います。この学習の経験を通して、ふるさとへの愛着を深め、自分たちも何らかの形で町づくりに関わっていこうという気持ちをもってくれることと期待しています。

また、発表会では、6年間お世話になった地域ボランティアの方々への感謝の気持ちをまとめた壁新聞を展示し、紹介しました。自分たちの学校生活を支え、豊かな心を育ててくださった地域の方々との出会いに感謝している子ども達の思いがあふれていました。

6年生は、2学期から総合的な学習で「ふるさと芦刈町の未来を描く」をテーマに学習を進めてきました。グループごとに観光、福祉、安全、産業などの視点から芦刈町を見つめ直し、町づくりについての提言をまとめました。

2月18日、たくさんの方々の地域の方々が見守る中、立派に発表することができました。



ゲストにインタビュー



プロジェクターを使って発表

【町づくり発表会にご協力いただいた皆様】

小城市役所商工観光課・小城市社会福祉協議会・JA芦刈支所・漁協芦刈支所・「芦刈まちづくりグループ未来」・牛王駐在所・芦刈公民館・沖の島詣り中島様・「夢つなぐ」地域ボランティアの皆様(順不同)

「1年間ありがとうございました」 ボランティアの皆様へ感謝状の贈呈

今年度も、のべ500人を超える皆様に学校を応援していただきました。本当にありがとうございました。

←ボランティアさんにお礼の手紙と感謝状を渡す2年生

